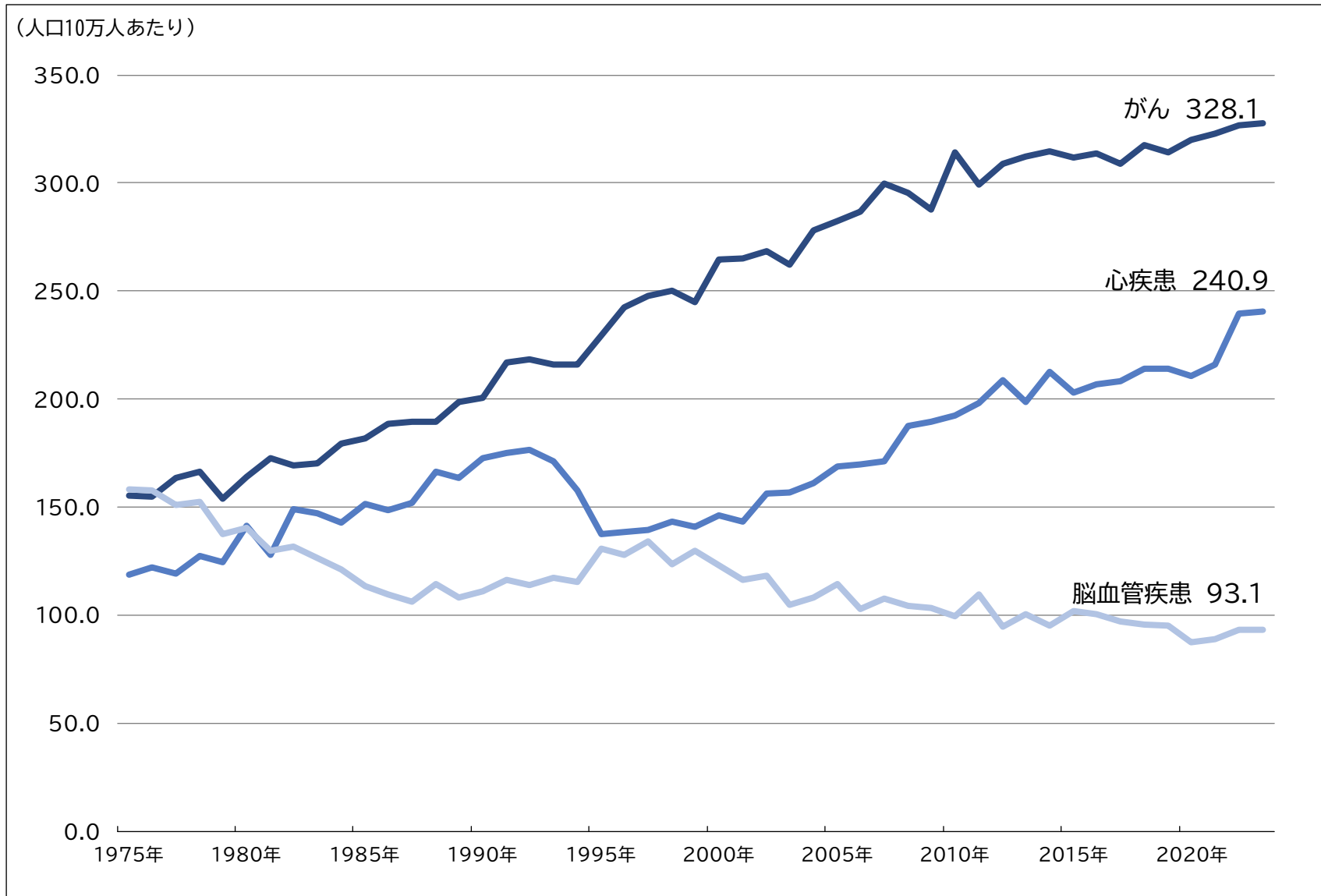


本県におけるがんの状況について

香川県の主要死因別の死亡率の推移

香川県のがんによる死亡率(人口10万人あたり)は、1977年に脳血管疾患を超え、死因の第1位となっている。がんによる死亡率は増加の傾向が続いている。

香川県のがん・心疾患・脳血管疾患の死亡率の推移(1975~2023年)

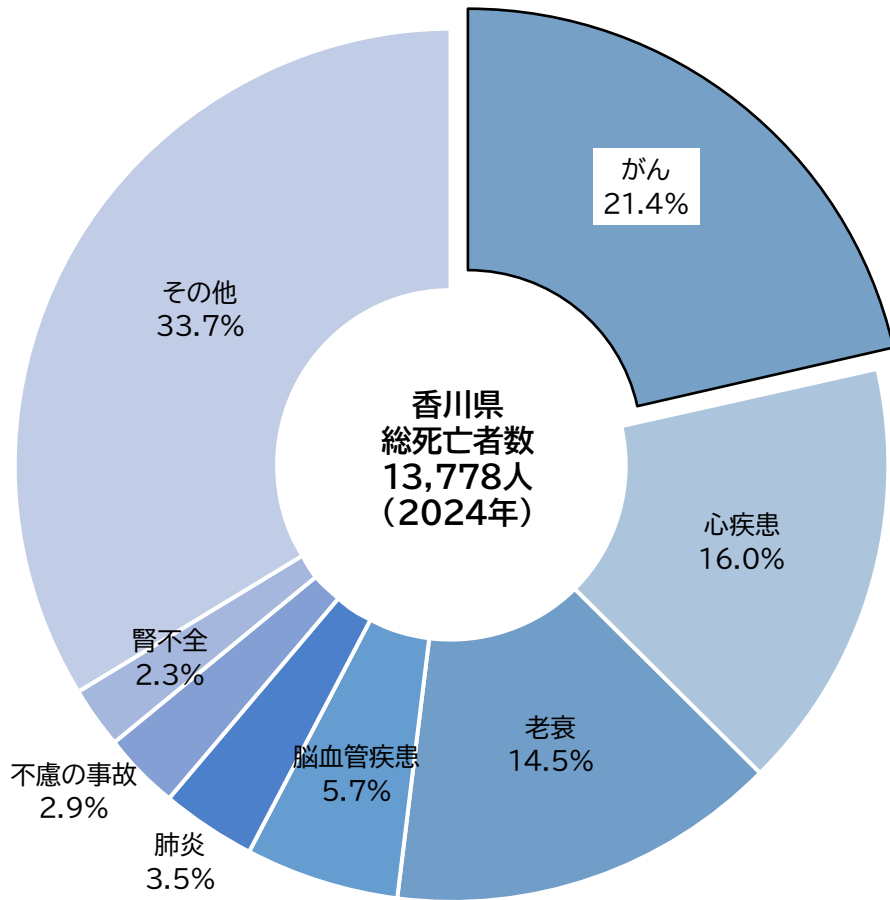


出典:厚生労働省「人口動態統計」

香川県の主な死因別の死亡者数の割合、がんの死亡者数の推移

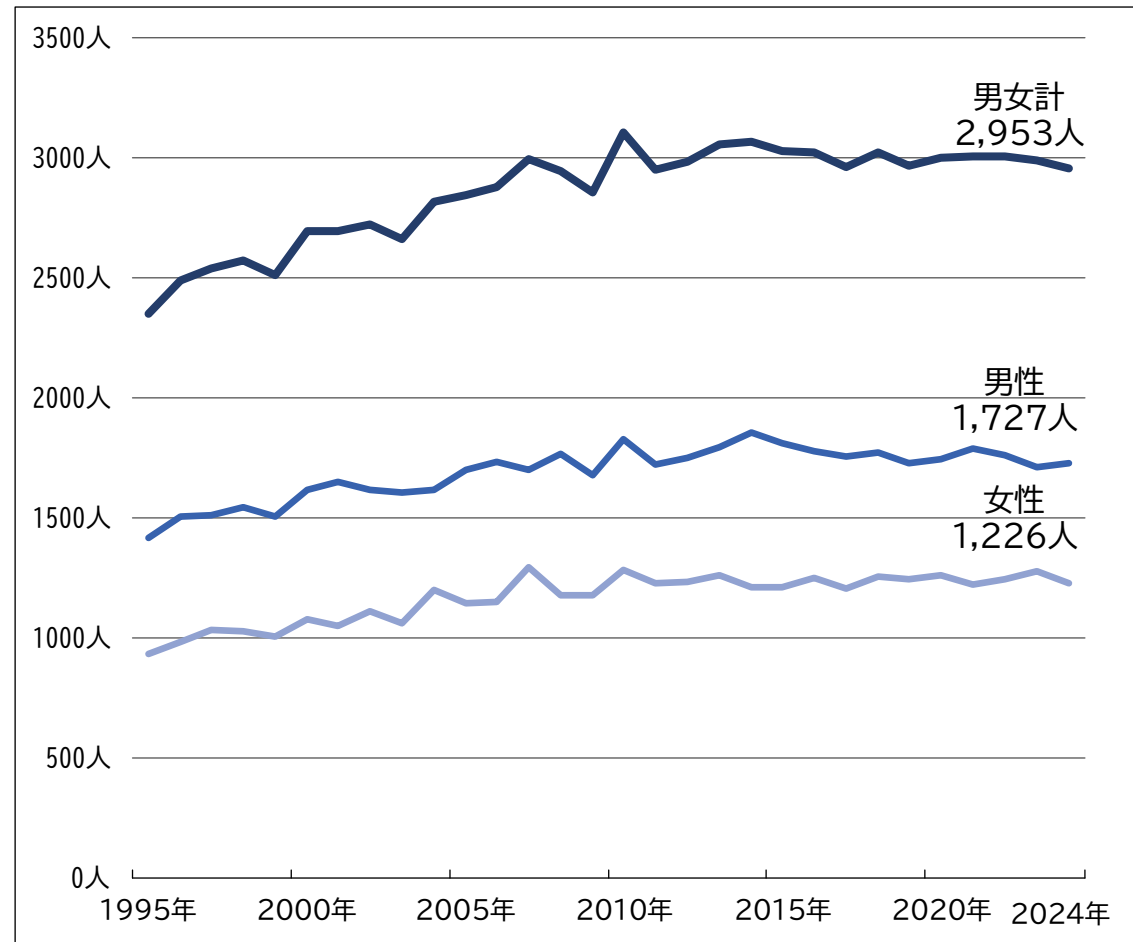
2024年の全死亡者数13,778人のうち、がんによる死亡の割合は21.4%であり、がんによる死亡者数は2,953人(男性1,727人、女性1,226人)。がんによる死亡者数は近年横ばい状態。

主な死因別の死亡者数の割合(男女計)



出典:厚生労働省「人口動態統計」

香川県のがん死亡数の推移(1995~2025年)

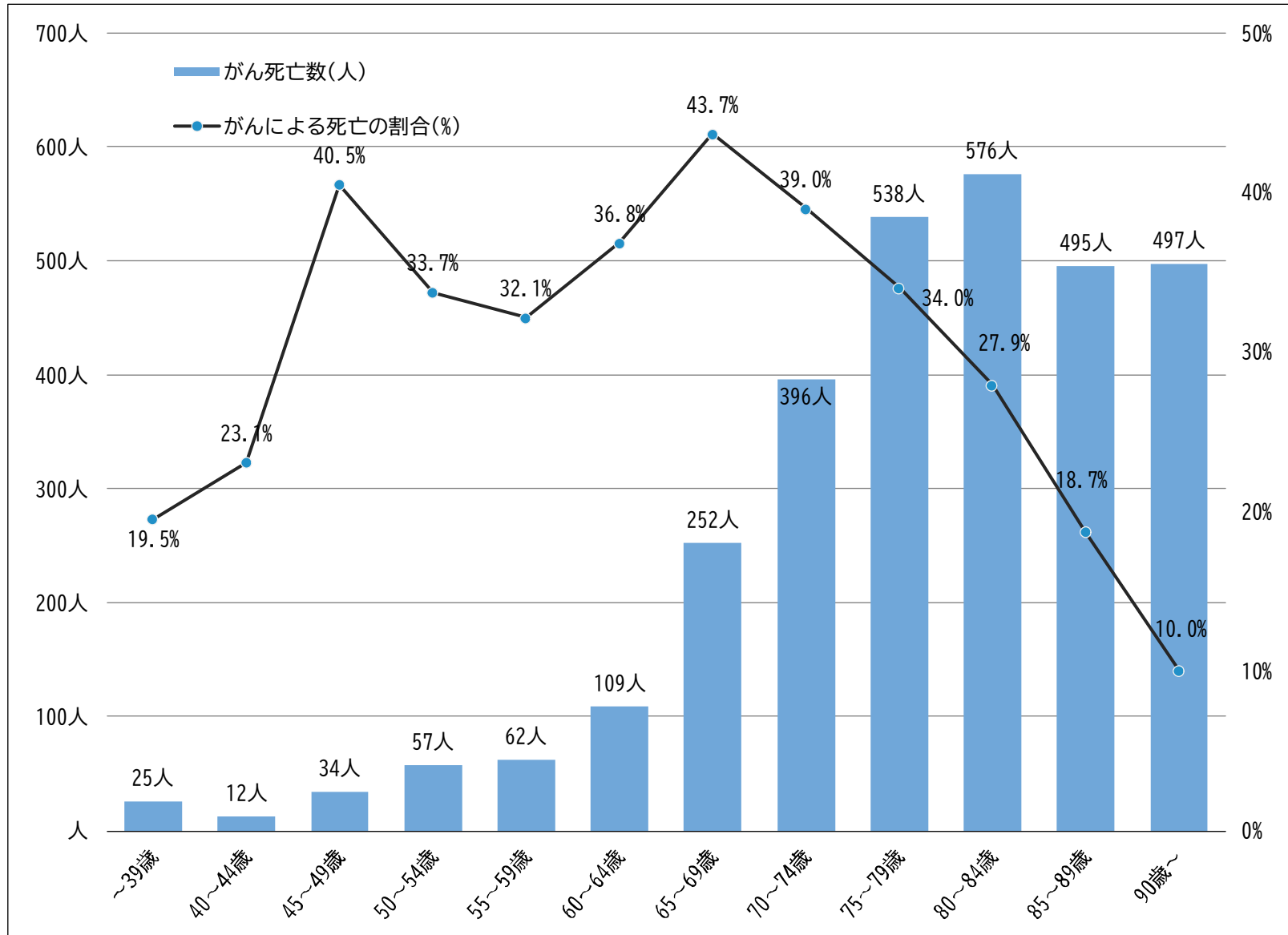


出典:厚生労働省「人口動態統計」

香川県の年齢階層別がんの死亡数とがん死亡の割合

がんによる死亡の割合は65～69歳でピークで約4割を占める。70歳台以降はがんによる死亡者数は400人を超えるが、他の死因も増加するため、がんによる死亡の割合は減少する。
※45～49歳においては、2024年は他の死因の死亡者数が、例年に比べてやや少なく(母数の減少)かったものの、がんで死亡した人数に大きな変化は無かったため、相対的にがんによる死亡の割合が高くなったと考えられる。(例年は3割前後。)

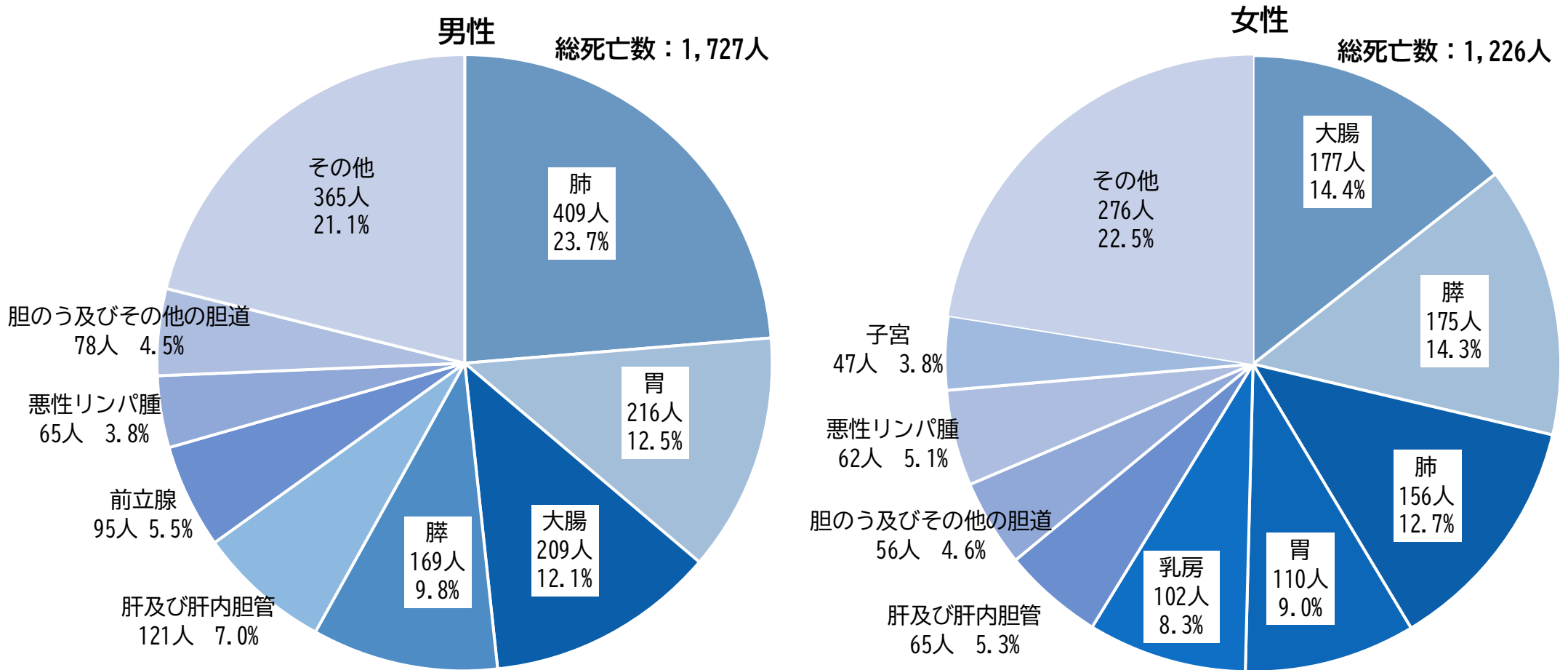
香川県の年齢階層別がんの死亡数とがん死亡の割合(2024年)



香川県のがん部位別死亡者数の内訳

男性では、肺がんが最も多く、胃がん、大腸がんの3部位で5割弱を占める。
女性では、大腸がん、肺がん、膵がんの順で、3部位で約4割を占める。

香川県のがん部位別死亡者数の内訳(2024年)



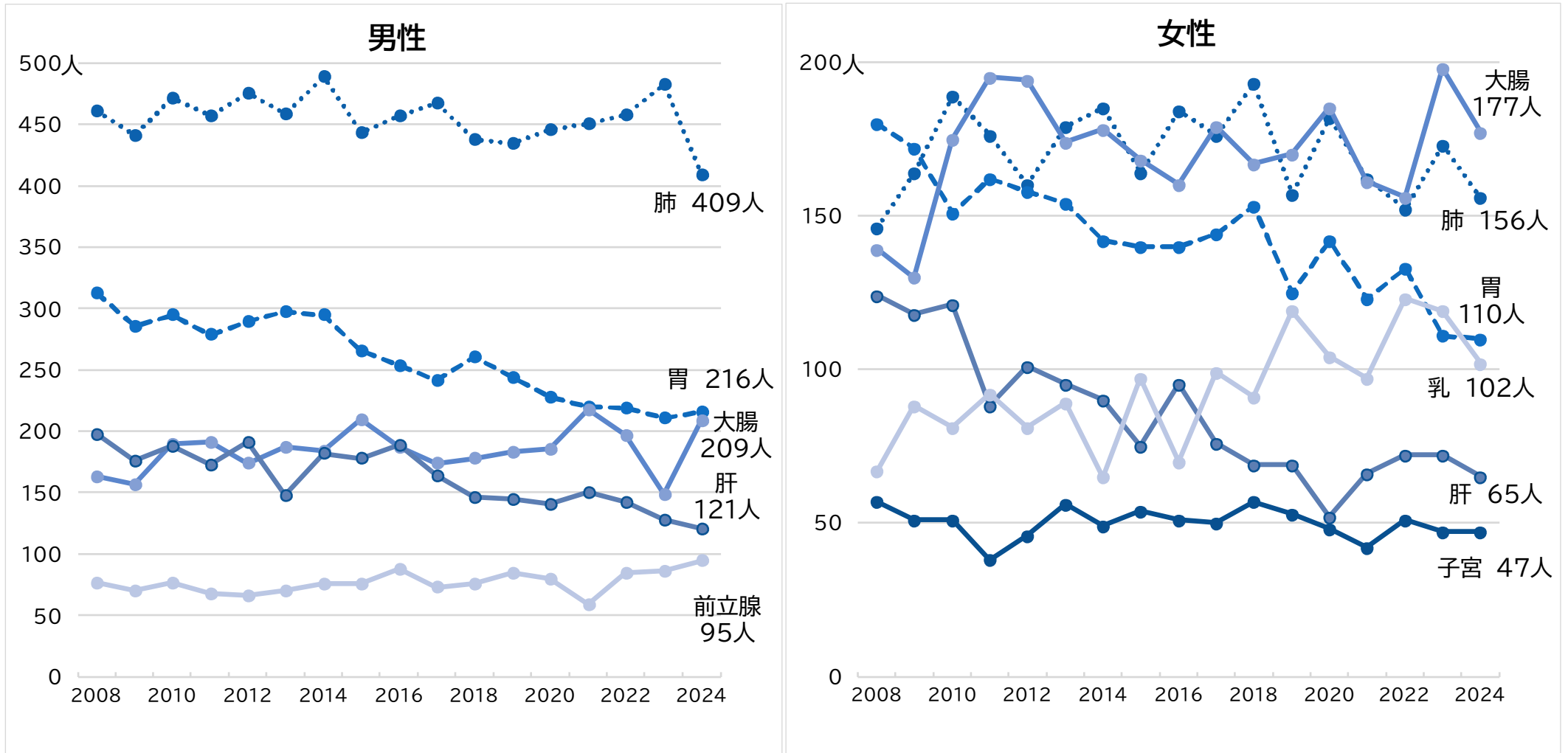
※「大腸がん」は「結腸がん」と「直腸がん」を含む。「子宮がん」は「子宮体がん」と「子宮頸がん」を含む。

出典：厚生労働省「人口動態統計」

香川県のがん部位別死亡者数の内訳

男性の肺がん、大腸がん、前立腺がんはほぼ横ばいの状態。胃がん、肝がんは減少の傾向がみられる。
 女性は年によって人数にばらつきがあるが、大腸がんと肺がんが多い。肝がんは減少気味ながら、乳がんによる死亡が、やや多くなっている傾向がみられる。子宮がんは横ばいの傾向が続いている。

香川県のがん部位別死亡者数の推移(2008～2024年)

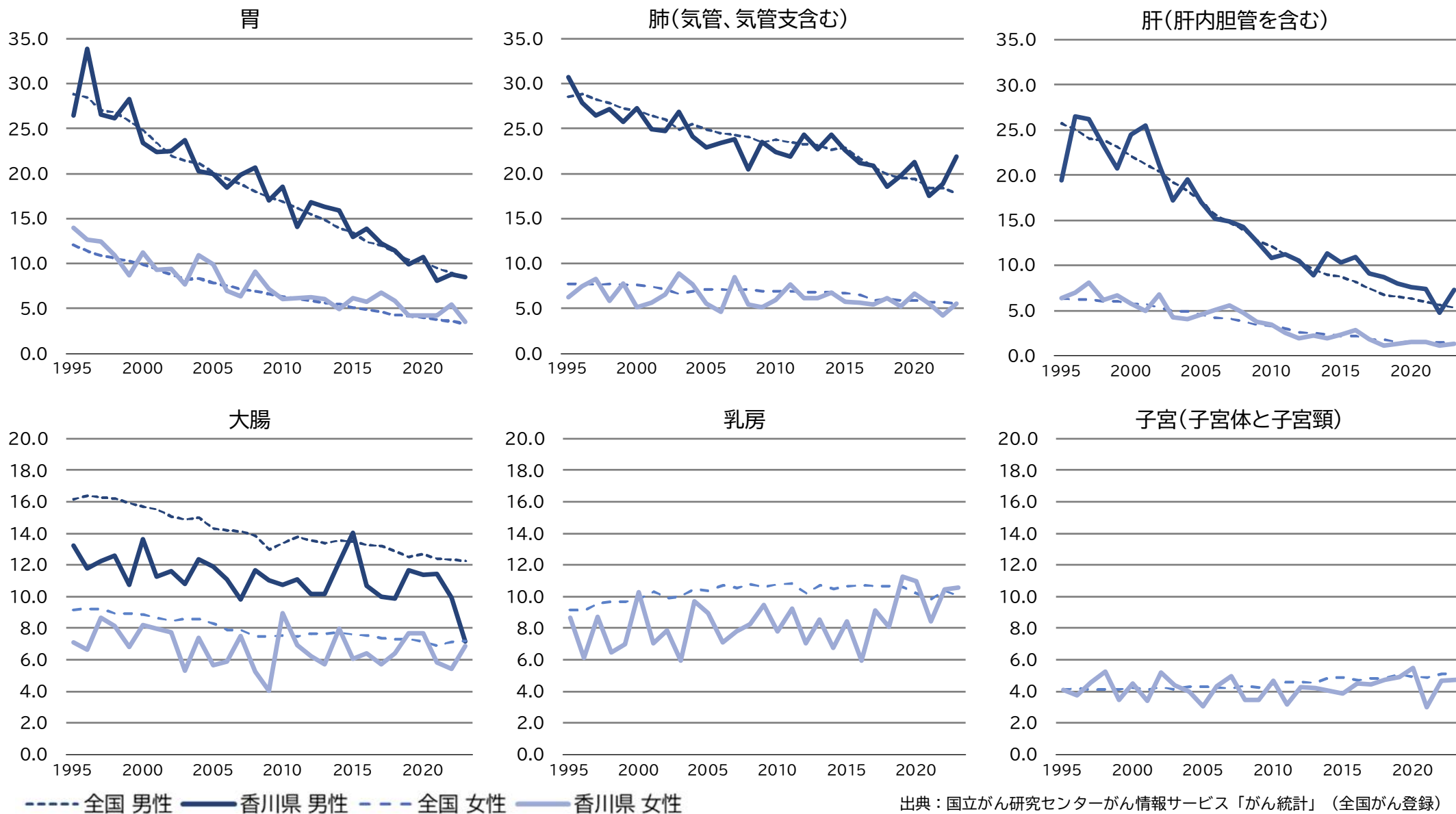


出典：厚生労働省「人口動態統計」

香川県の主ながん部位別の75歳未満年齢調整死亡率

男性の胃がん、肝がんは減少の傾向がみられる。肺がんについても緩やかに減少している傾向がられる。
 女性の胃がん、肝がんも減少の傾向がみられる。大腸がんについては、男女ともに概ね全国よりも低く推移している。

香川県と全国の主ながん部位別の75歳未満年齢調整死亡率（1995～2023年） ※いずれも人口10万人あたり

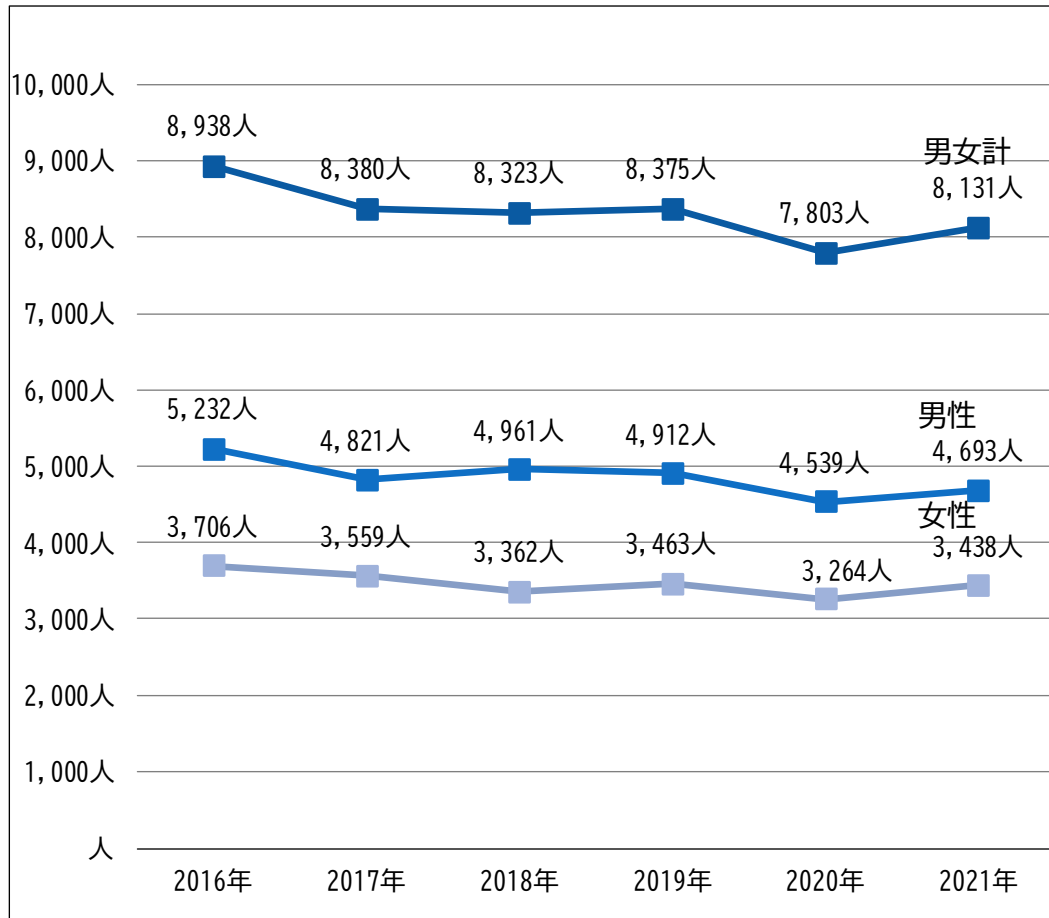


出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）
 注）基準人口は昭和60（1985）年モデル人口を使用

香川県のがんの罹患数と年齢調整罹患率の推移

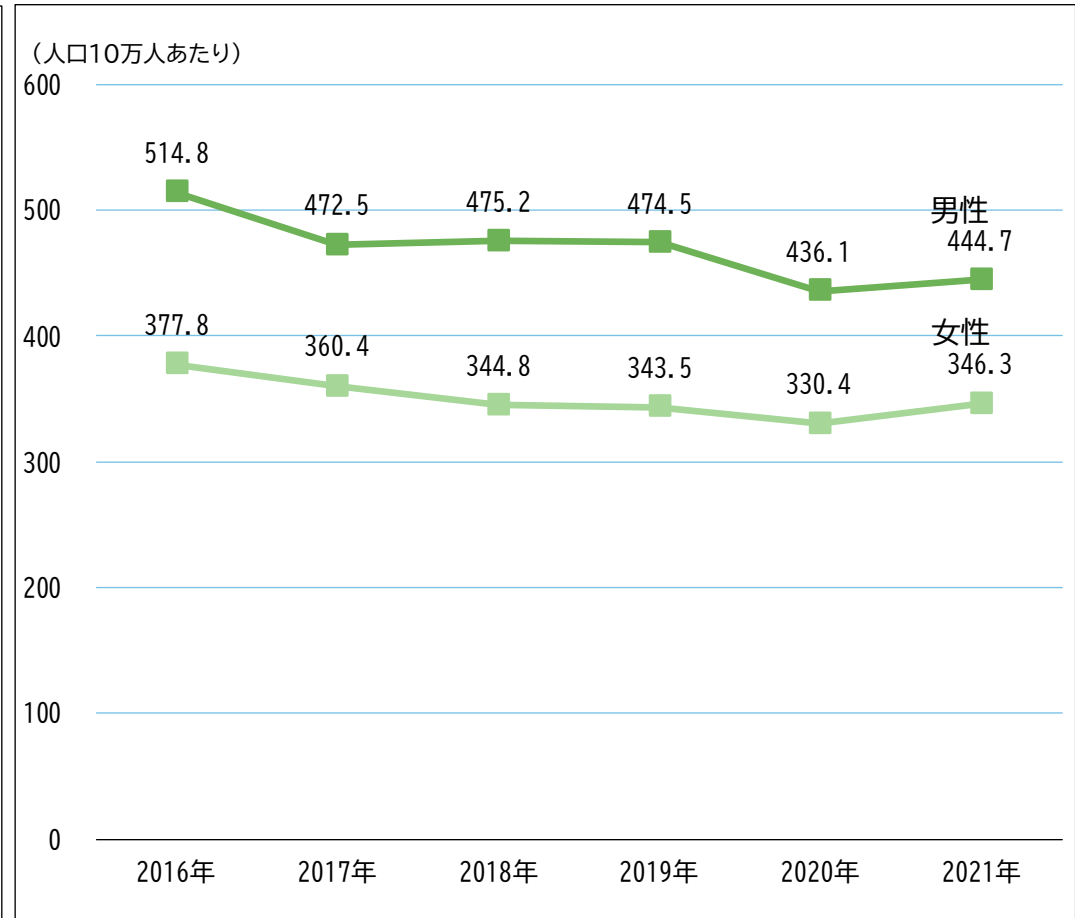
2020年の罹患数は男性、女性共にやや増加し、男女合計で8,000人台となった。
年齢調整罹患率も男性、女性共にやや増加した。

香川県のがん罹患数の推移（2016～2021年）



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）

香川県のがん年齢調整罹患率の推移（全部位/全年齢2016～2021年）

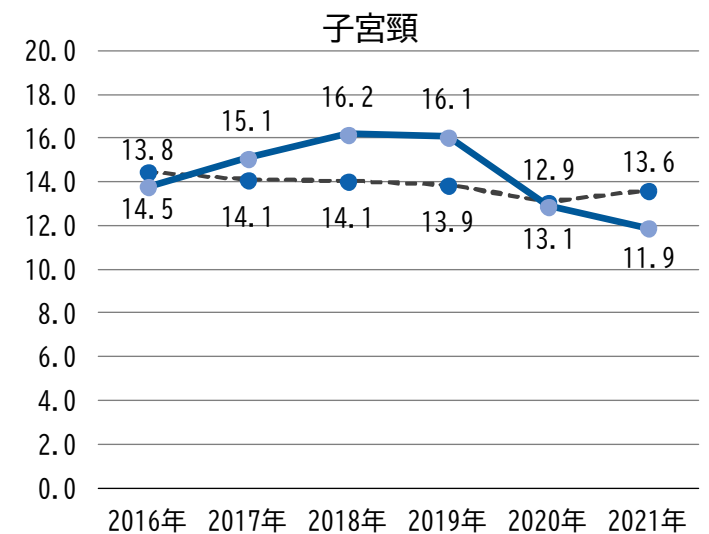
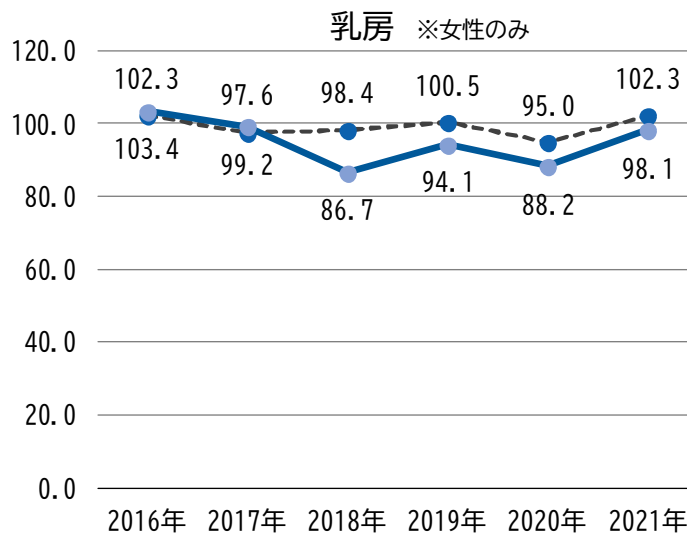
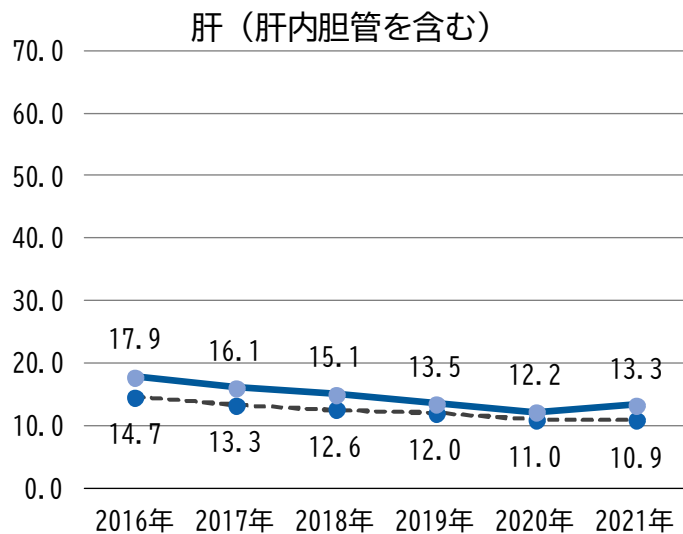
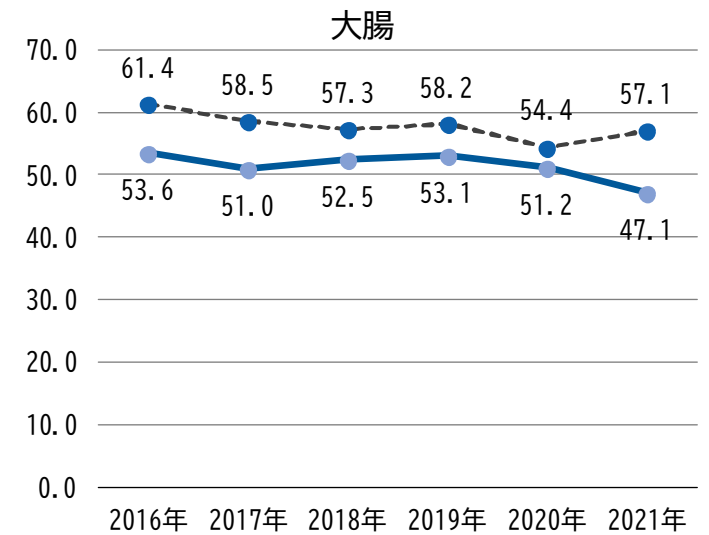
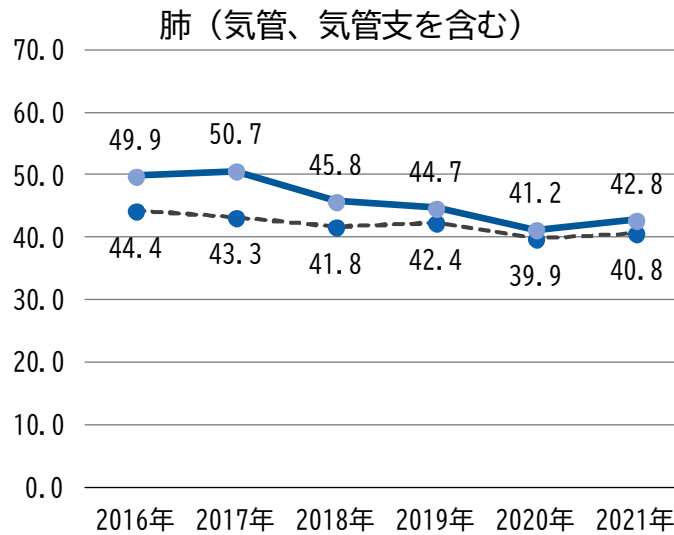
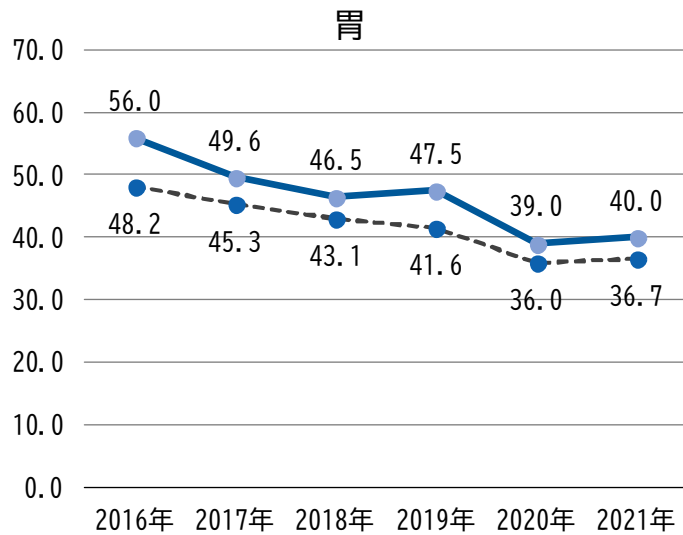


出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）
注）基準人口は昭和60（1985）年モデル人口を使用

香川県の主な部位別の年齢調整罹患率の推移

胃がん、肺がん、肝がんについては、全国よりもやや高い状態で推移している。
大腸がん、乳がんは全国よりもやや低く推移している。子宮頸がんは、全国平均よりも低くなった。

香川県と全国のがん部位別年齢調整罹患率の推移（全年齢/2016～2021年） ※いずれも人口10万人あたり



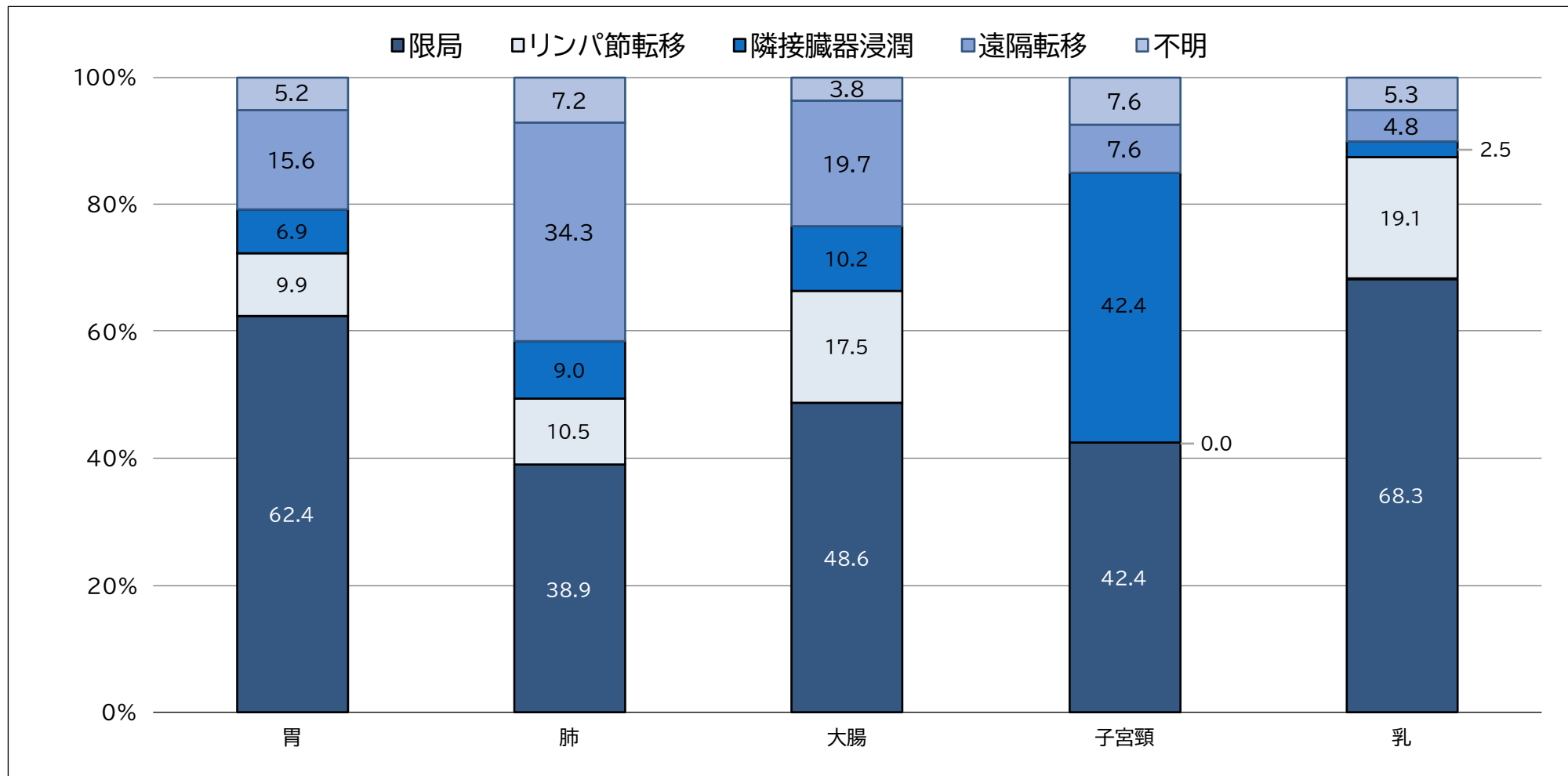
--●-- 全国 男女計 ●— 香川県 男女計

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）
注）基準人口は昭和60（1985）年モデル人口を使用

香川県の検診がん種別の臨床進行度の割合

胃がん、乳がんは「早期がん(臨床進行度が限局にとどまっている)」の割合が6割超。肺がん、大腸がん、子宮頸がんについては、3~4割程度となっている。

香川県の検診がん種別の臨床進行度の割合(2020年) ※上皮内がんを含まない。



※「胃」、「肺」、「大腸(結腸・直腸を含む)」は男女合計。「子宮頸」、「乳」は女性のみ。

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)

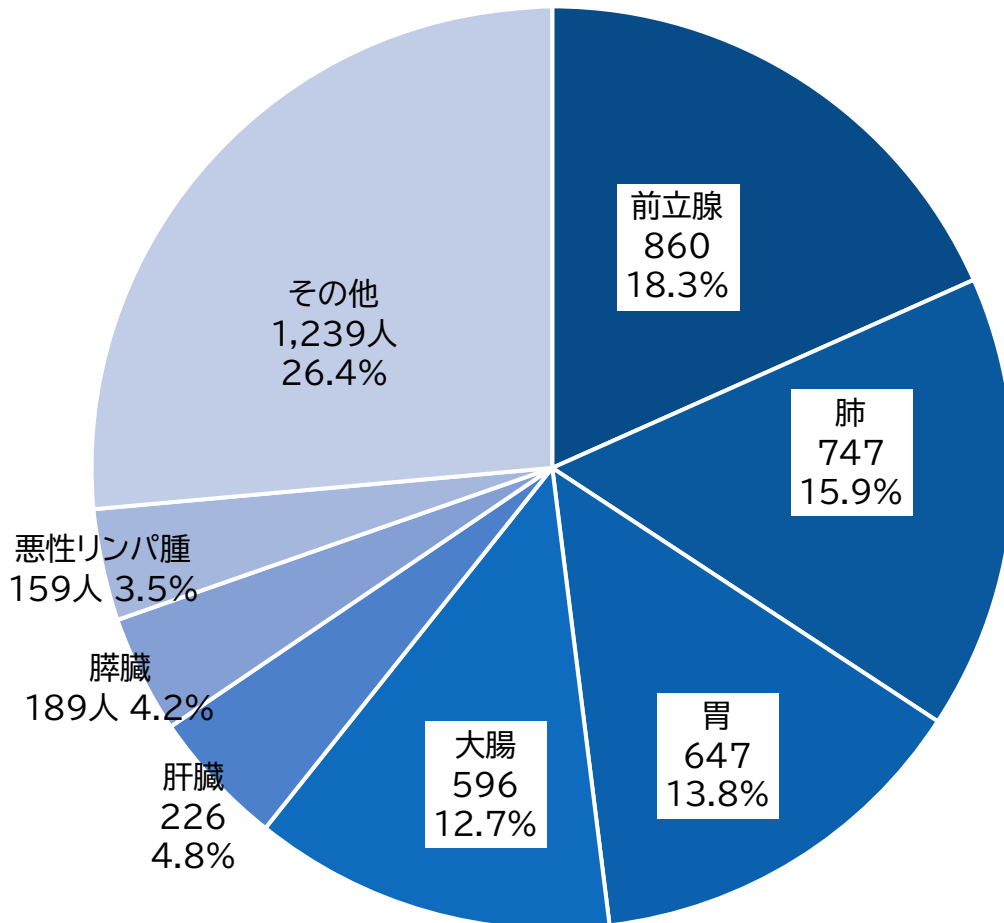
香川県の部位別罹患数の内訳

男性は、前立腺、肺、胃、大腸が多く、4部位で罹患数の6割を超える。
女性は、乳房、大腸、胃、肺、子宮の順で罹患数が多く、5部位で6割を超える。

香川県のがん部位別罹患患者数の内訳(2021年)

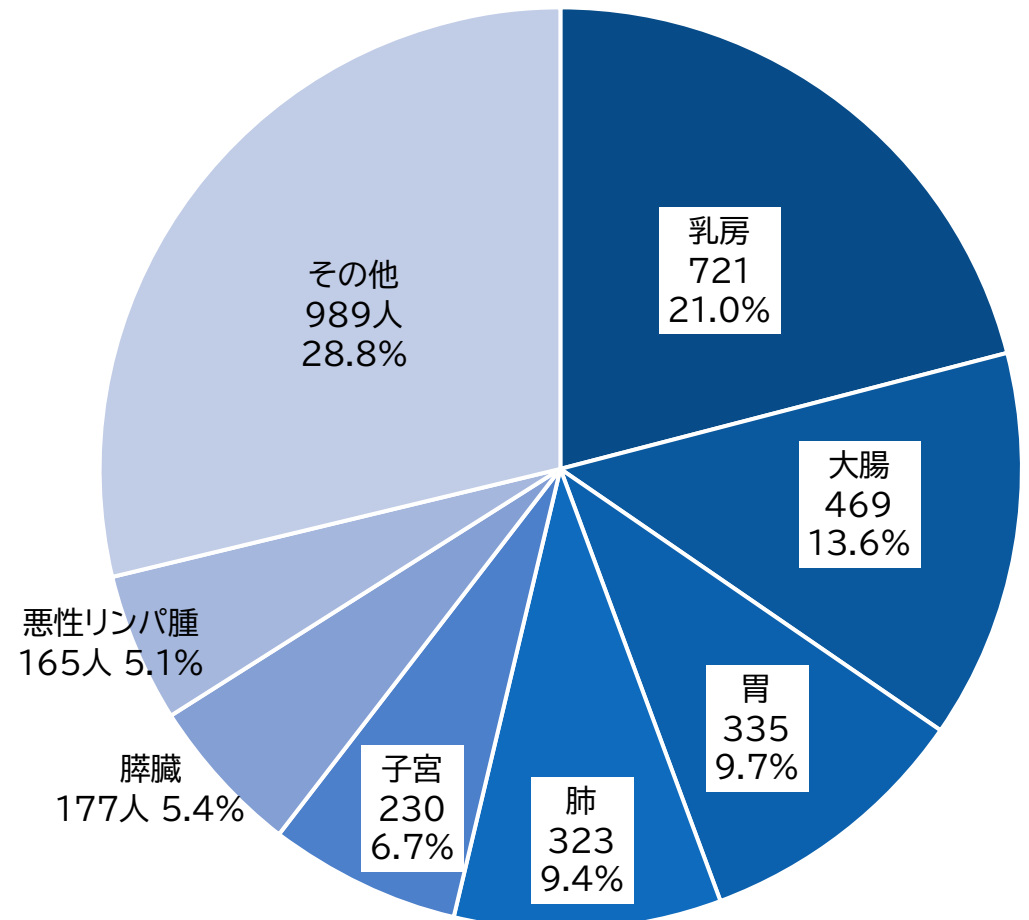
男性

総罹患数 4,693人



女性

総罹患数 3,438人



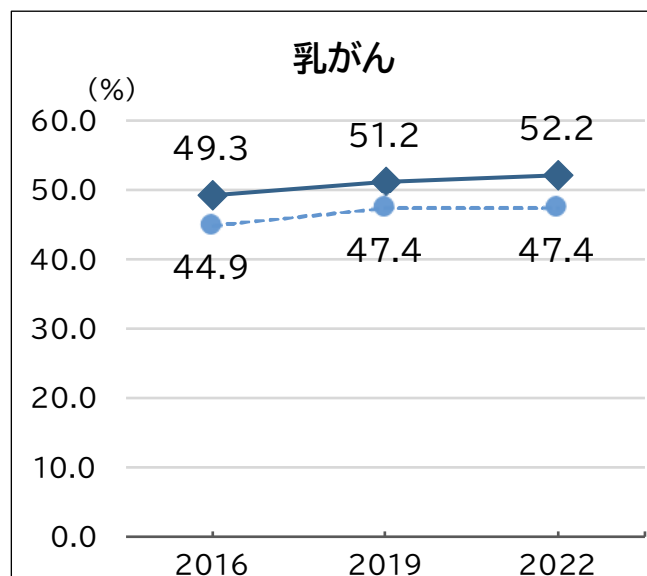
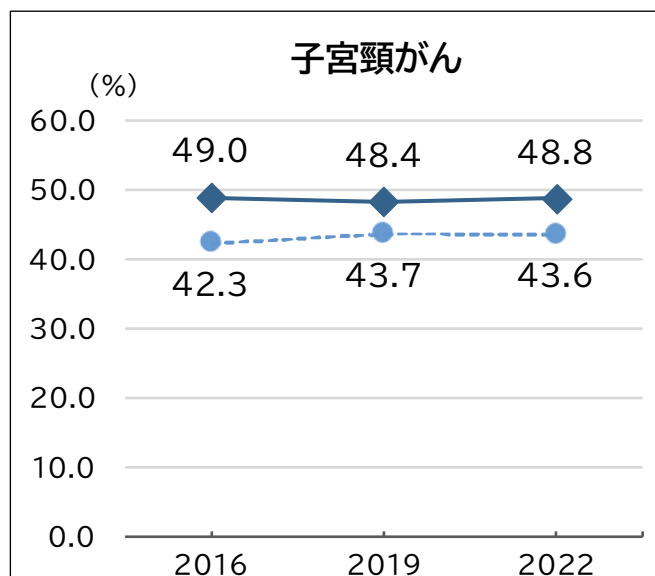
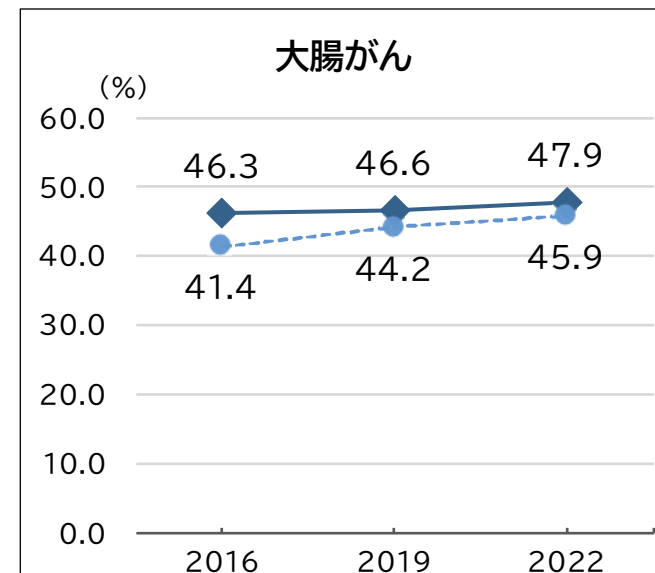
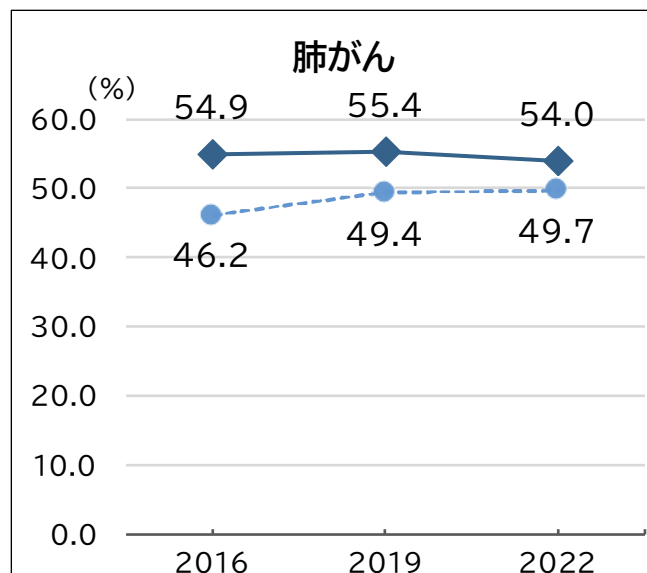
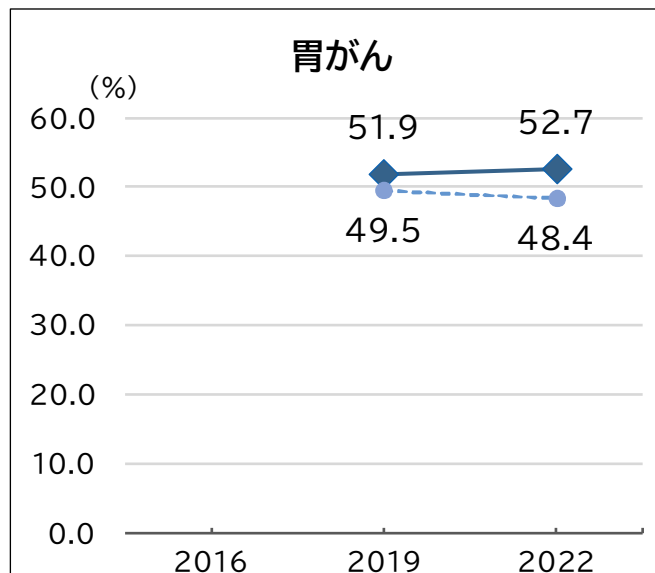
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)

香川県のがん検診受診率の推移

いずれの部位においても、全国より上回っているが、目標の60%には達していない。

※3年ごとの調査間隔のため前年から更新無し

香川県と全国の部位別がん検診受診率の推移



受診率算出対象者

- ・胃 : 50～69歳/過去2年間
※胃については、算出対象者の範囲が変わったため2019年からの推移のみ
- ・肺、大腸 : 40～69歳/過去1年間
- ・乳 : 40～69歳/過去2年間
- ・子宮頸 : 20～69歳/過去2年間

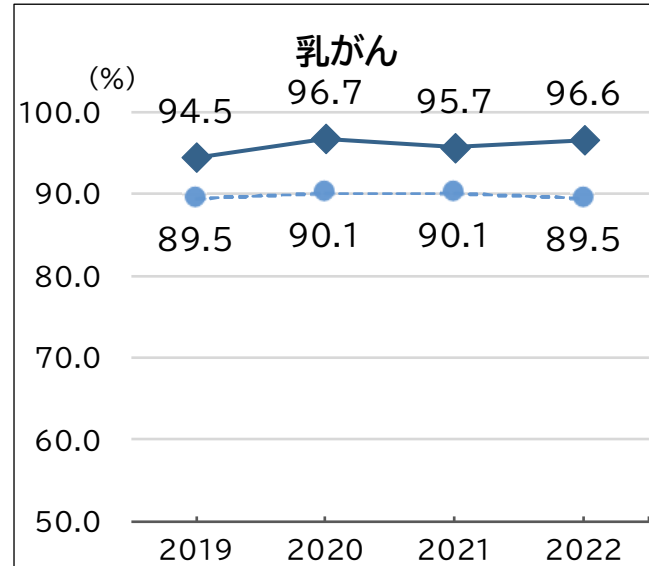
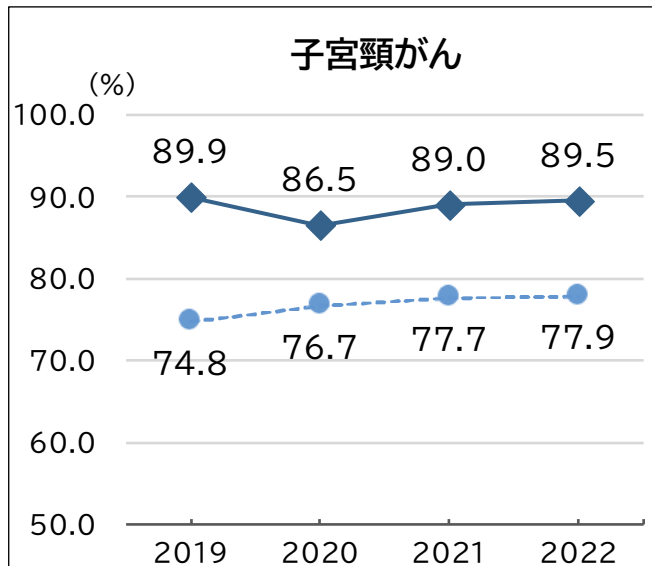
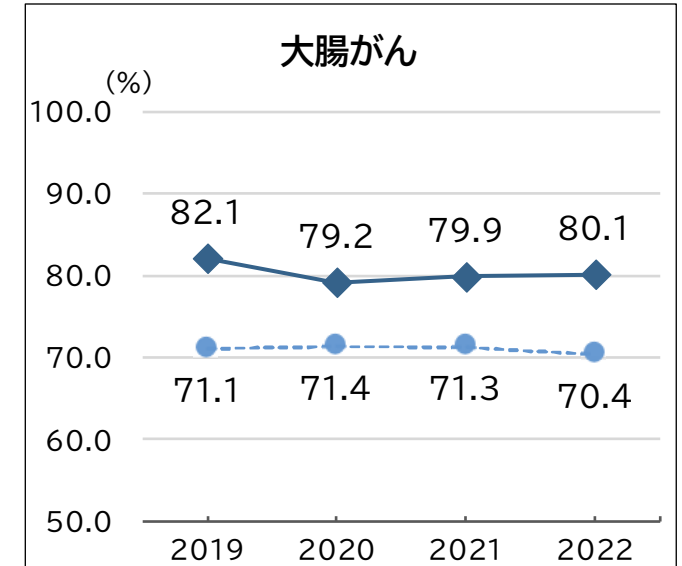
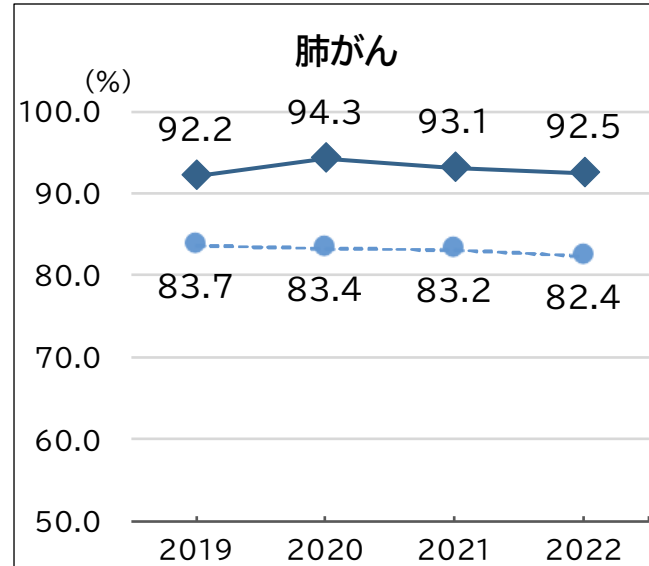
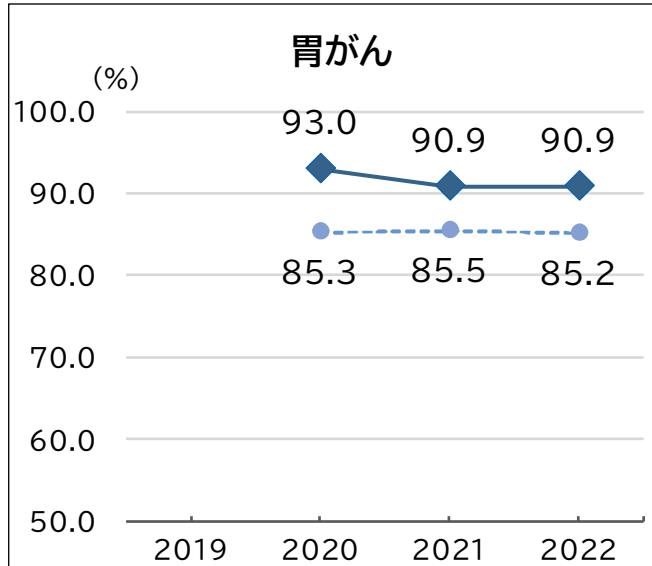
◆ 香川 ● 全国

出典：国民生活基礎調査

香川県のがん精密検査受診率の推移

胃がん、肺がん、乳がんについては目標の90%以上を達しているが、大腸がん、子宮頸がんは目標には達していない。

香川県と全国の部位別がん精密検査受診率の推移(2019～2022年)



受診率算出対象者
 ・胃 : 50～74歳
 ※胃については、算出対象者の範囲が変わったため2020年からの推移のみ
 ・肺、大腸、乳 : 40～74歳
 ・子宮頸 : 20～74歳

—◆— 香川 -●- 全国

出典：地域保健・健康増進事業報告